

■発行■
2008年3月
vol.10
ファルマバレーセンター
E-Mail mail@fuji-pvc.jp
URL www.fuji-pvc.jp

「富士山麓から世界へ ～ファルマバレーは、いま!～」



〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007 TEL055-980-6333 FAX055-980-6320
県立静岡がんセンター研究所1階

東京でファルマバレープロジェクト成果発表会を開催 ファルマバレーへの企業誘致を促進



■静岡がんセンターとの共同研究成果を発表する企業



■首都圏の医療・健康関連企業を中心に大勢の参加者が集まった

ファルマバレープロジェクトは、「世界一の健康長寿県の形成」に向け、「健康増進・疾病克服」、「県民の経済基盤確立」を両輪に、県民の健康増進と健康関連産業の集積を図ることとしている。県は、この目標達成に向けた取り組みとして、海外、県外企業との連携・協働を視野に入れた「ファルマバレープロジェクト成果発表会」を東京で開催した。

12月17日、ファルマバレープロジェクト成果発表会が、ホテルポール麴町（東京都千代田区平河町）で開催された。首都圏の医療・健康関連企業関係者を中心に約150人が参加した。東京での開催は昨年に続き2回目。今回の発表テーマは大きく2つ。「企業の共同研究成果」と「地域における企業誘致の取組」だ。

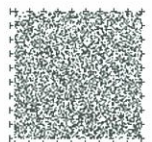
最初に、県立静岡がんセンターの山口建総長が、ファルマバレープロジェクトの特色や静岡がんセンターを中心としたこれまでの取組成果などを紹介。「今後は、産業集積に向けて、医療・健康関連の企業誘致にも積極的に取り組んでいきたい」と述べた。

続いて、県立静岡がんセンターと共同研究を行っているサンスター（株）、大鵬薬品工業（株）、東京海上日動あんしん生命保険（株）、富士フィルム（株）の企業4社がその研

究成果を発表。いずれも、患者やその家族、臨床現場の視点を重視した研究だった。

後半は、静岡県産業部のほか、県東部5市町（沼津市、富士宮市、富士市、御殿場市、小山町）が地域の魅力と企業誘致に向けた取り組みを発表。深谷幸久県産業集積室長は、「ファルマバレー地域における企業誘致」と題して、県東部地域への企業立地の状況やその優位性、さらに企業誘致に向けた優遇制度や相談窓口などを紹介した。

今回の発表会を通じて、首都圏の企業などがファルマバレープロジェクトとこの地域に強い関心を持つことで、地元の企業や研究機関との連携・協働に加え、将来的には県東部地域への立地につながる事が期待される。





■ファルマバレー地域に特化した情報が掲載されている企業誘致パンフレット

加速する企業誘致活動

雄大な富士山の自然と交通至便なロケーションを持つ県東部地域には、立地の優位性から数多くの企業や研究施設が集積している。県は、さらなる産業集積を目指し、ファルマバレープロジェクトを生かした誘致活動を加速させている。

ファルマに特化したパンフレットを作成

県が持つ情報収集のネットワークは多岐に及ぶ。県東京事務所、大阪事務所を中心に、各市町、金融機関、大手建設会社などとの頻繁なコミュニケーションから、設備投資や土地を探しているなどの企業情報をキャッチし、県、両事務所、市町が一緒になって出向く。情報の収集と発信は、パンフレット、ホームページ、展示会でのブース出展、三大都市圏の特別企業訪問、企業立地説明会が主。東京と大阪事務所には企業誘致担当職員を置いている。県と市町で作る「県企業立地市町推進連絡会」では、情報の共有や大きな展示会などへの出展を共同で行う。

昨年12月には富士山麓地域にある4つの工業団地をメインに、ファルマバレー地域の立地特性や産業集積がひと目でわかるパンフレットを作成。医療・健康関連業種が多く参加する展示会を

はじめ、さまざまな機会
でPRに努めている。



工場進出に7億円以上の助成

県が用意する優遇制度は大きく2つ。1.工場などの新增設に伴う設備投資に最大5億円を補助する「新規産業立地事業費助成」2.工場などの設置に伴う土地取得費と新規雇用に最大2億円を補助する「地域産業立地事業費助成」だ。両補助制度とも原則1企業1回の適用だが、事業拡大時の県内での設備投資を促すため、平成20年度から一定規模以上の

場合に複数回の適用が可能となるよう、現在見直し作業を行っている。なお、これら2つの助成は工場の進出だけでなく、研究所などにも適用される。

また、海外企業については、最初から製造工場を構えるのが難しいことから、オフィスの賃貸料を1年間補助する「外資系企業等事務所賃貸料助成制度」や、新規立地や市場開拓のための情報収集や各種手続きへの相談・助言を行うワンストップセンターもある。(詳しくは文末の各問い合わせ窓口へ)

戦略的に企業誘致を推進—沼津市



■熱心な検討が行われる「ものづくりクラスター推進懇話会」

沼津市の企業誘致活動は、まとまった土地がなく地価が高いことを理由に苦戦を強いられてきた。そこで企業立地促進法による県の研究会に先立ち、沼津市と長泉町は共同で「ものづくりクラスター推進懇話会」を平成18年度に立ち上げた。技能五輪国際大会跡地を含み、国道246号をまたいで北側に広がる台地に、将来的にはファルマバ

レープロジェクト関連のクラスターを作ろうと研究、検討を始めている。すでに沼津市は技能五輪跡地に医療関連企業2社の誘致に成功しており、現在は残る1区画に企業を誘致しようとPR活動に精を出す。

沼津市産業部の杉山正人副参事は「富士地区や北駿地区の工業団地とは広さと価格の面で同じ土俵では戦えない。静岡がんセンターをはじめ、沼津高専や技術専門校などの教育機関があり、気候も温暖で交通の要衝という優位な条件を前面に出していきたい。高次都市機能を充実させるなど、地域資源をさまざまに組み合わせることで、2つのネガティブな状況を補って余りある戦略的誘致活動を目指している」と語る。

理念の一致とアクセスの良さが決め手—オリンパス

富士山と駿河湾を一望する長泉町東野に立つ、白い建物2棟がオリンパスの新しい施設。昨年4月にオープンし、血液自動分析装置の開発・製造・サービスと、人工骨やコラーゲンを成分とする人工皮膚などの生体材料を製造している。

静岡がんセンター北側のファルマバレー長泉工業団地にオリンパスが進出した決め手は、ファルマバレープロジェクトの理念と、同社のライフサイエンス部門が目指す方向が一致したこと。また、交通が至便で風光明媚な環境も決断する材料となった。



■オープンから1年、430人体制で稼働するオリンパス三島事業場(後方は静岡がんセンター)

ファルマ地域の基本計画を

昨年6月には企業立地促進法が施行された。これは、県と市町が共同で基本計画を策定し、その地域に進出する企業に設備投資減税や工場立地法の緑地面積率緩和、中小企業信用保険料引き下げなどのメリットを与えるもの。すでに浜松地域では自動車・光産業に限定した基本計画を策定している。

12月には、県がファルマバレー地域16市町とともに基本計画策定のための研究会を発足。今後、ワーキンググループなどを経て集積すべき業種や計画期間などを検討していく。県産業集積室の深谷幸久室長は「ファルマバレー関連業種のほかにどんな産業を集積業種として基本計画に組み

込むかは、市町それぞれの思惑があるので調整が必要だが、20年度中には基本計画を策定したい」と意気込む。



地域の情報を積極発信— 東部地域コンベンションビューロー

昨年11月、10市町(沼津・三島・御殿場・裾野・伊豆・伊豆の国市、函南・清水・長泉・小山町)で構成する静岡県東部地域コンベンションビューローが設立された。コンベンションビューローとは、学会や行政、企業が行う研修会・セミナー、シンポジウム、見本市や展示会、各種イベントなどの誘致、運営支援などを行う組織。首都圏に隣接し、交通の便も良く、多くの観光的魅力をもつ東部地域で長らく設立が熱望されていた。

同ビューローの後藤克裕事務局長は「この地域にはファルマバレープロジェクト関連の人々も多く訪れる。学会の誘致、運営支援だけでなく、地域のさまざまな情報を出すことで、この地域に興味を持ってもらえる企業を増やしたい」と語る。

■ホームページ <http://www.shizutou-cb.jp/>

お問い合わせ

静岡県東部地域コンベンションビューロー

〒410-0801 静岡県沼津市大手町1丁目1番3号(沼津商連ビル5F)

TEL:055-964-1800 FAX:055-951-7877 E-mail:info@shizutou-cb.jp

■ お問い合わせ先

● 静岡県産業部産業集積室

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
TEL:054-221-3262 FAX:054-221-3216
<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-530/index.html>

● 静岡県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階
TEL:03-5212-9036 FAX:03-5212-9038

● 静岡県大阪事務所

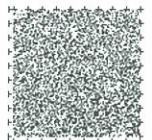
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-9 静岡県産業ビル1階
TEL:06-6263-6120 FAX:06-6263-6110

● 外資系企業支援ワンストップ・センター

(社)静岡県国際経済振興会(SIBA)
〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44-1
静岡県産業経済会館4階
TEL:054-254-5161 FAX:054-251-1918

● ファルマバレーセンター

(ファルマバレー企業支援窓口)
〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007
静岡がんセンター研究所1階
TEL:055-980-6333 FAX:055-980-6320



ファルマバレーからスポーツジムが誕生



■開設式でマシンの説明をする小林教授(中央)

しずおか健康長寿財団副理事長で東京大学の小林寛道名誉教授が開発した「認知動作型トレーニングマシン」。正しい身体動作を学ぶことで体幹筋肉の強化を図ることができる。科学的手法に基づく新しいトレーニング法として、ファルマバレープロジェクトの一環で研究、普及が進められてきた。

この理論を活用したスポーツジム「スポウエル健身塾サントムーン柿田川」が

1月31日、駿東郡清水町にオープンした。広さは約330㎡、歩行や走る動作を改善する「スプリントトレーニングマシン」、体幹深部筋を鍛え、スタートダッシュ力を強化する「アニマルウォークトレーニングマシン」など11種29台のマシンのほか、低酸素トレーニングルームや高酸素リフレッシュルームを揃える。小学校高学年から高齢者まで、年代や目的に応じた幅広いメニューを提供する。問い合わせは同健身塾<☎055(976)3033>へ。

トライアングルリサーチクラスターを関西へPR



■発表会で挨拶をする石川知事

1月22日、ホテル日航大阪(大阪市中央区)で、「静岡トライアングルリサーチクラスター成果発表会」が開催された。関西地域のバイオ関連企業や産業支援機関、本県のクラスター推進機関など、約100人が参加した。

発表会では、石川嘉延知事の挨拶のあと、「静岡ト

ライアングルリサーチクラスター(※)」の概要が紹介された。また、3クラスターの事業責任者等からバイオ関連事業を中心とした取り組みと成果が発表された。特に、サンスター(株)からは、静岡がんセンターと共同での製品開発の経緯や成果が具体的に紹介され、参加者は熱心に聞き入っていた。クラスターの広域連携を図るうえで有意義なきっかけづくりの場となった。

※静岡トライアングルリサーチクラスター：静岡県内における東部のファルマバレー(医薬品・医療機器・健康関連)、中部のフーズ・サイエンスヒルズ(食品・医薬品・化成品)、西部のフォトンバレー(光・電子技術関連)の3つのクラスターの総称

都市エリア事業から初の製品化

国立遺伝学研究所・深川竜郎准教授が中心となり開発した抗体試薬が、都市エリア事業の商品化第1号として、(株)医学生物学的研究所から発売された。

富士山麓エリアでは、文部科学省の助成を受けて、ベツサイドのニーズに基づくがんの早期発見、診断及びオーダーメイド医療の実現に向けた腫瘍マ

ーカー、バイオマーカーの探索と診断機器等の開発・製品化を目指した都市エリア事業を進め

ている。

人が健康で生きていくには、生命情報を受け持っている遺伝子を上手に働かせることが必要であり、それには、いろいろなタンパク質が適正に機能する必要がある。また適正に機能しなければがんを含めた病気を引き起こすことになる。本商品は、人の生命維持には重要なタンパク質を量ることができる抗体試薬であり、将来のがん診断薬として大いに期待できる。



■3種類の抗体の製品化に成功。昨年未より販売を開始した

問い合わせは(株)医学生物学的研究所<☎052(971)2081(代)>へ。

